

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・前期・選択	
	対象学科・専攻	機械・電子システム, 電気情報システム, 土木工学専攻	
安全衛生工学 (Safety and Health Engineering)	担当教員	高橋 明宏 (Takahashi, Akihiro)	
	教員室	機械工学科棟1階 (TEL: 42-9103)	
	E-Mail	takahasi@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / —— / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分) + 自学自習 (200分)] × 15回		
[本科目の目標] 技術者に必要な安全衛生を中心に, 安全衛生の必要性, 関係法令, 作業環境, 食の安全を含む商品の安全性に関する諸問題等について理解する。			
[本科目の位置付け] 安全衛生工学はものづくりを行う上で大変重要な科目である。工学実験や実習など実技系の科目のみならず, あらゆる座学科目とも密接な関連がある。			
[学習上の留意点] 将来, 衛生管理者1種および2種をはじめとする, 労働安全コンサルタントや衛生コンサルタント等の資格試験に合格するために, 教科書等を参考に2時間程度の予習をし, 授業時間での質問等に対応できるようにしていること。また, 講義終了後は, 復習として2時間程度の演習課題等の課題に取り組むこと。そして, 労働災害に関する事故や商品・製造物に関する事故に関する記事について自分の考えをまとめておくこと。疑問点があれば, きちんと質問すること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 安全衛生の基礎	2	<input type="checkbox"/> (1) 安全配慮義務について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (2) 不安全な行動について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (3) 不安全な状態について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (4) フールプルーフについて理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (5) フェールセーフについて理解し, 説明できる。	安全配慮義務に関する文献(図書館に各種あり)やインターネットを活用して概略を勉強しておく。
2. ヒヤリハット	2	<input type="checkbox"/> (1) ハインリッヒの法則について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (2) ヒヤリハットの意義について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (3) ヒヤリハットの進め方について理解し, 説明できる。	ヒヤリハットに関する文献(図書館に各種あり)やインターネットを活用して概略を勉強しておく。
3. リスクアセスメント	4	<input type="checkbox"/> (1) リスクアセスメントの意義について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (2) リスクアセスメントの進め方について理解し, 説明できる。	リスクアセスメントに関する文献(図書館に各種あり)やインターネットを活用して概略を勉強しておく。
4. 危険予知訓練 (KYT)	4	<input type="checkbox"/> (1) 危険予知訓練 (KYT) の意義について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (2) 危険予知訓練 (KYT) の進め方について理解し, 説明できる。	危険予知訓練 (KYT) に関する文献(図書館に各種あり)やインターネットを活用して概略を勉強しておく。
5. 関係法令	8	<input type="checkbox"/> (1) 労働安全衛生法について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (2) 労働安全衛生規則について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (3) 労働基準法について理解し, 説明できる。	下巻 p.3-p.473 の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと。
6. 労働衛生	6	<input type="checkbox"/> (1) 衛生管理体制について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (2) 作業環境要素について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (3) 職業性疾病について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (4) 作業環境管理について理解し, 説明できる。 <input type="checkbox"/> (5) 救急処置について理解し, 説明できる。	上巻 p.265-p.384 の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておくこと。
7. 製造物責任法 (PL法)	2	<input type="checkbox"/> 製造物責任法 (PL法) について理解し, 説明できる。	製造物責任法 (PL法) に関する文献(図書館に各種あり)やインターネットを活用して概略を勉強しておく。
——定期試験—— 試験答案の返却・解説	2	授業項目 1~7 に対して達成度を確認する。 各試験において, 間違った部分を理解出来る。	
[教科書] 衛生管理—第1種用—上 中央労働災害防止協会編, 衛生管理—第1種用—下 中央労働災害防止協会編			
[参考書・補助教材] 労働安全衛生規則 厚生労働省編 中央労働災害防止協会			
[成績評価の基準] 定期試験成績(100%)			
[専攻科課程の学習・教育目標との関連] 4-2			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 4-2			
[JABEEとの関連] (d)(2)d			